

ゼクス不動産から高齢者 事業にシフトが吉?

材料は明
確だ。いま

4位のゼクス。昨年の注目の再生医療の研究開発を手がけるTESSホールディングス(未上場)との業務提携と、中国当局と提携して進めている高齢者住宅施設の建設・運営の発表。中国の施設は4月に第1号案件が北京市で着工するという。総事業費は140億円。もともと不動産取引が主な事業だったゼクス。昨年の今ごろは、上場廃止基準を下回るなど、いわゆる「危ない企業」リストの常連だった。最近

企業価値検索サービス
ユレット
アクセス上昇ランキング
(09年12月27日~10年1月2日)

	銘柄	取引所	株価(円)
1	日本航空	東証1部	67
2	凸版印刷	東証1部	751
3	ヤマダ電機	東証1部	6260
4	ゼクス	東証1部	1629
5	コスモスイニシア	ジャスダック	452
6	大王製紙	東証1部	754
7	任天堂	東証1部	22040
8	イオン	東証1部	752
9	三菱商事	東証1部	2305
10	パナソニック	東証1部	1325

*12月30日終値。http://www.ullet.com/

2010年5月期の通期予想は依然23億円の最終赤字だが、業態転換でどしどし降りから脱出できるか?

ユレット 上場企業4000社の決算書を複数年にわたってデータベース化したサイト。売上高や営業CFなど、さまざまな角度から企業の経営を分析し、ワンクリックで他社と比較できる。経営方針の転換や経営リスクの高まりなど、市場が注目する銘柄のアクセスが増える傾向がある。